

2016年3月15日

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086
神戸市中央区磯上通 7-1-5
www.lilly.co.jp

EL16-13

日本イーライリリー、神戸市、先端医療振興財団と 「神戸医療産業都市における 認知症にやさしいまちづくり推進のための連携と協力に関する協定書」で締結

日本イーライリリー株式会社(本社:神戸市、代表執行役社長:パトリック・ジョンソン、以下「日本イーライリリー」)は、3月15日(火)、神戸市、公益財団法人先端医療振興財団(以下、「先端医療振興財団」)と、認知症に関する協定書「神戸医療産業都市における認知症にやさしいまちづくり推進のための連携と協力に関する協定書」を締結いたしました。

神戸市は、1998年より「神戸医療産業都市」プロジェクトを掲げ、ポートアイランドにおいて先端医療財団をはじめとする先端医療技術の研究開発拠点を整備し、21世紀の成長産業である医療関連産業の集積を図ってまいりました。日本イーライリリーは、兼ねてより本プロジェクトに賛同し、画期的な新薬を創出するための研究開発拠点のひとつとして神戸を位置づけてきました。

本協定での連携事項は、以下の4つです。

(1)認知症に関する臨床研究の推進

日本イーライリリーが実施する認知症治療薬の治験に対して先端医療振興財団がその保有する設備、資源を活用し協力する。

(2)認知症に対する理解促進及び意識啓発

三者共同で認知症に対する市民の理解を促進するために啓発ムービー等を作成するとともに、市民並びに専門家に向けた認知症に関するサイエンスフォーラムを開催する。

(3)認知症に関する海外先進事例の情報提供

日本イーライリリーの海外ネットワークを活用し認知症に関する海外都市の先進事例の情報を収集し、神戸市、先端医療振興財団に対して提供するとともに、共同で勉強会を開催する。

(4)神戸医療産業都市の情報発信

三者それぞれのネットワークを活用し、本協定による取り組みをはじめ、広く神戸医療産業都市の情報を内外に発信する。

認知症に対する理解促進、意識啓発から認知症の治療・新薬開発に関する臨床研究・臨床試験の推進まで多岐に亘っており、早期発見から治療・発症後のケアまで包括的な認知症対策を目指した内容となっております。

日本イーライリリー代表執行役社長のパトリック ジョンソンは「神戸医療産業都市はわたしたちにとって重要な開発拠点のひとつであり、本協定に参画することができることを誇りに思います。この協定を通じて、私たちが四半世紀以上力を注いできたアルツハイマー型認知症におけるサイエンス・イノベーションの経験と実績が最大限に発揮されるものと確信しています。また治療のアンメットニーズの高い認知症の領域で神戸市、先端医療振興財団と連携し、新薬をお届けできるような仕組みづくりを進めるとともに、認知症の早期診断から治療、ケアまでの包括的な施策の実現に貢献してまいります。」と述べました。

日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、イーライリリー・アンド・カンパニーの子会社で、人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じて日本の医療に貢献しています。統合失調症、うつ、双極性障害、注意欠如・多動症(AD/HD)、がん(非小細胞肺癌、膵がん、胆道がん、悪性胸膜中皮腫、尿路上皮がん、乳がん、卵巣がん、悪性リンパ腫、胃がん)、糖尿病、成長障害、骨粗鬆症などの治療薬を提供しています。また、アルツハイマー型認知症、関節リウマチ、乾癬などの診断薬・治療薬の開発を行っています。詳細はホームページをご覧ください。<http://www.lilly.co.jp>